

**■施工される方へのお願い**

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

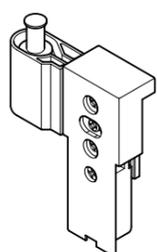
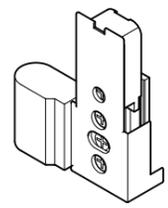
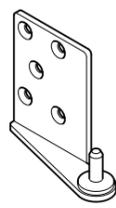
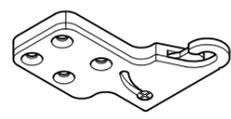
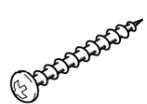
- 本体を吊込んだ後、上枠側丁番のロック板が元の場所に戻っていることを確認してください。ロック板が元に戻っていないと、本体脱落の原因になります。
- 本体を吊込んだ後、上枠側丁番のロックねじが締まっていることを確認してください。ロックねじが締っていないと、本体と干渉して部品が破損し、本体脱落の原因になります。
- 丁番固定ねじの締忘れ・緩みは、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじ及び丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。

**■施工上のお願い**

- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
  - 丁番は指定のねじで締付け、ガタツキのないように固定してください。調整後ガタツキがないことを確認してください。
- ※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをお勧めします。

**■部品・部材の明細**

**■部品セット<枠同梱>**

本体側丁番(上)	本体側丁番(下)	縦枠側丁番	上枠側丁番	化粧カバー
				
1	1	1	1	1
皿小ねじM4×23	皿タッピンねじφ4×20	<b>■ねじセット&lt;本体加工部にテープ止め&gt;</b> 〔アルミ枠ドア用〕		
		〔アルミ枠ドア以外(木扉)用〕		
5	4	ナベ小ねじM4×20	ナベタッピンねじφ4×30	
				
		8	8	

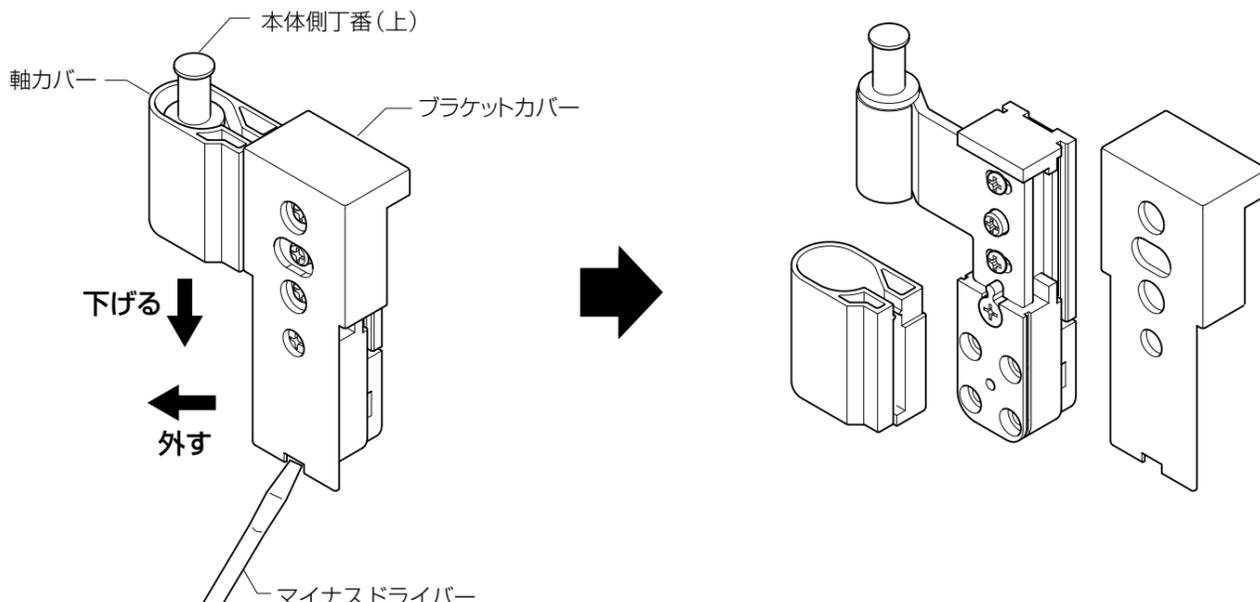
**■取付け順序**

**1 取付け準備**

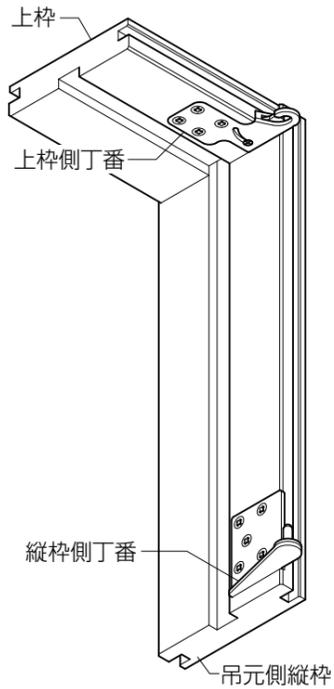
**■取付け詳細**

**1 取付け準備**

- ①本体側丁番(上)、(下)から軸カバーを外します。
- ②マイナスドライバーなどで、本体側丁番(上)、(下)からブラケットカバーを外します。



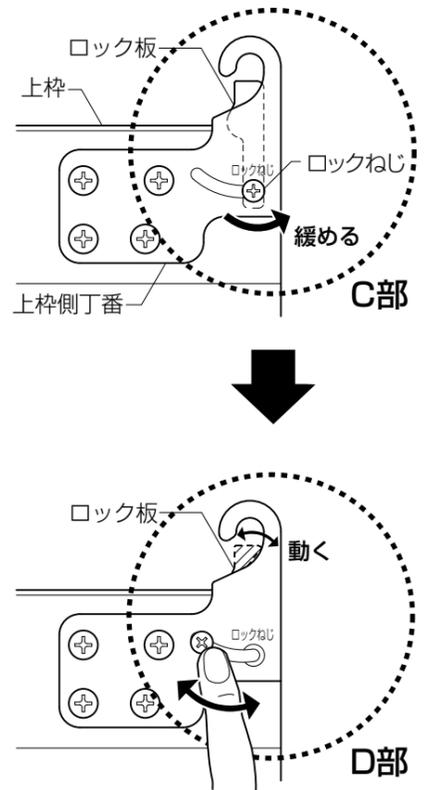
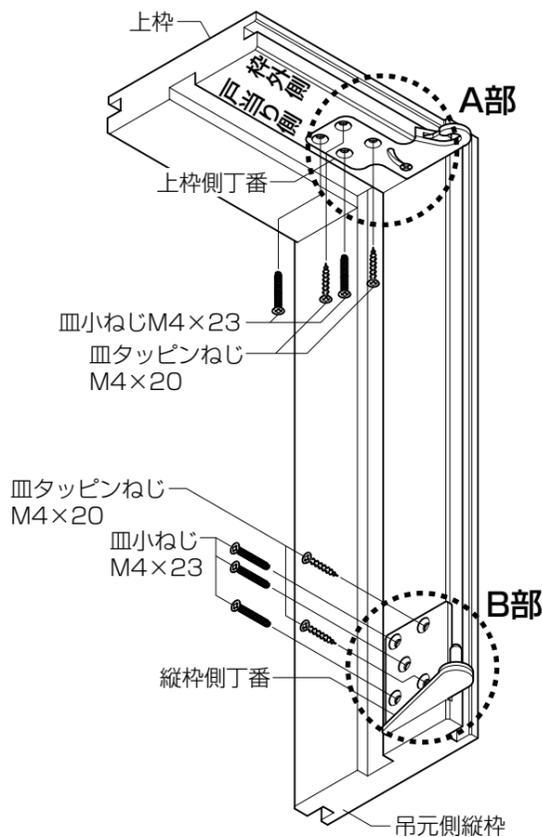
## 2 枠側丁番の取付け



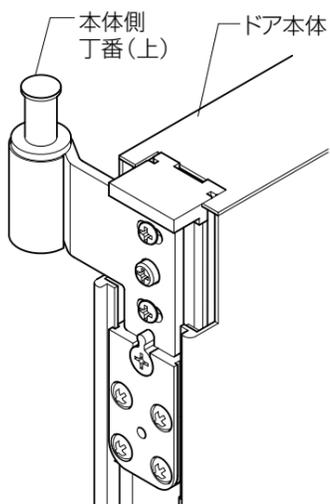
## 2 枠側丁番の取付け

- ①上枠に、上枠側丁番を取付けます。  
(A部)  
戸当り側2カ所は、皿小ねじM4×23で取付けます。枠外側2カ所は、皿タッピンねじφ4×20で取付けます。
- ②縦枠に、縦枠側丁番を取付けます。  
(B部)  
戸当り側3カ所は、皿小ねじM4×23で取付けます。枠外側2カ所は、皿タッピンねじφ4×20で取付けます。
- ③上枠側丁番のロックねじを3回転緩めます。(C部)  
※手でロックねじのねじ頭を動かし、ロック板が動くことを確認してください。(D部)

お願い  
●ロックねじには、電動ドライバーを使用しないでください。



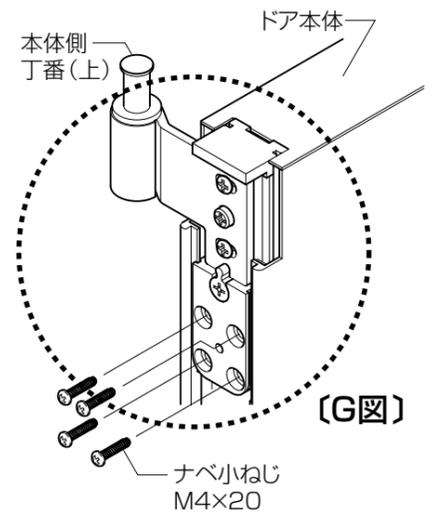
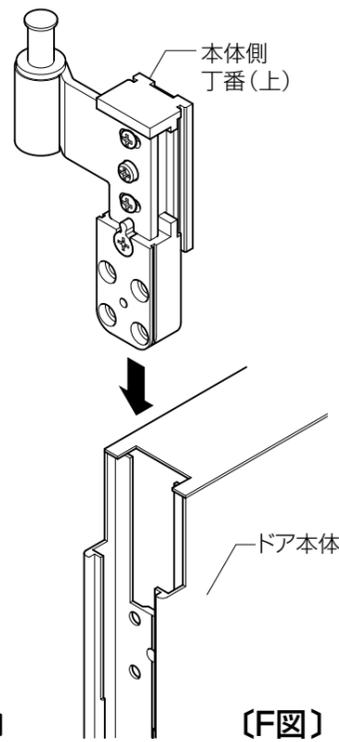
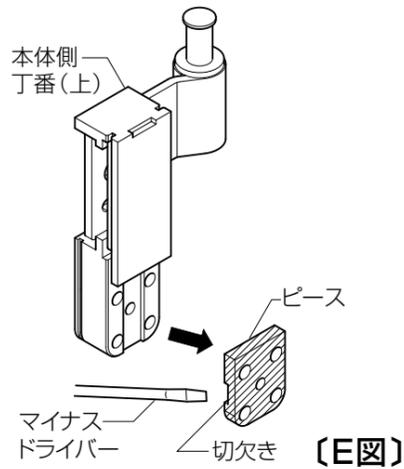
## 3 本体側丁番の取付け



## 3 本体側丁番の取付け

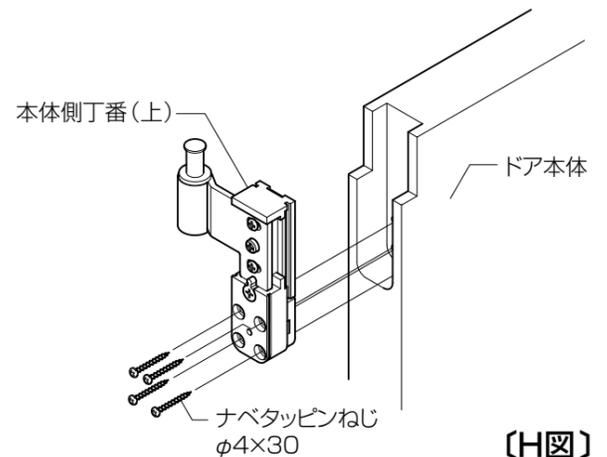
### 【アルミ框ドアの場合】

- ①本体側丁番の裏に付いているピースの切欠きに、マイナスドライバーなどを差し込みピースを外します。(E図)
- ②ドア本体に、本体側丁番をアルミの切欠きに合わせ上下からスライドさせて入れます。(F図)  
※ドア本体は、左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。
- ③ドア本体に、本体側丁番をナベ小ねじM4×20で取付けます。(G図)

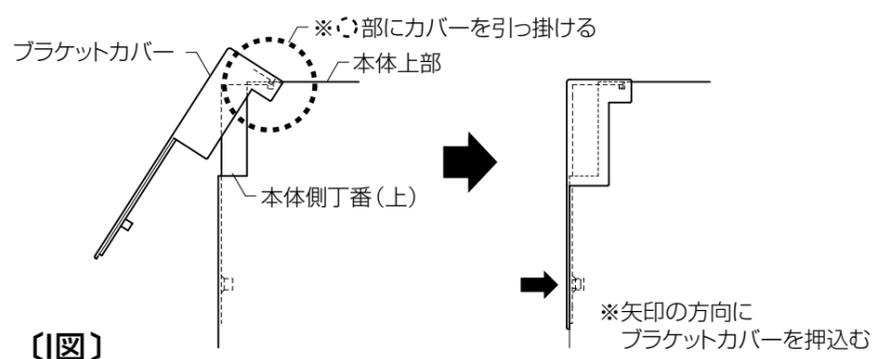


### 【アルミ框ドア以外(木扉)の場合】

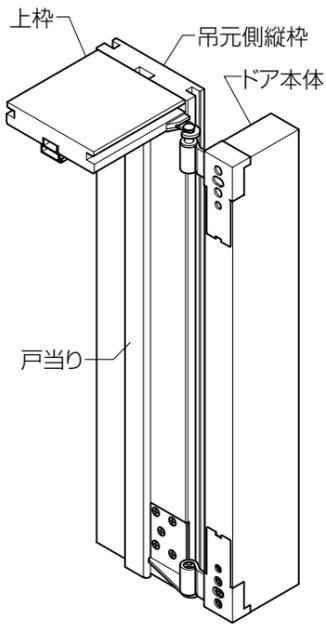
- ①ドア本体に本体側丁番をナベタッピンねじφ4×30で取付けます。(H図)  
※ドア本体は、左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。



- ②ドア本体に、ブラケットカバーを取付けます。(I図)  
※本体側丁番端部切欠き部にブラケットカバーの突起を引っ掛け取付けます。

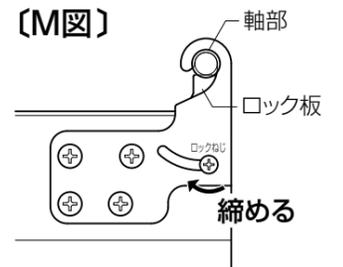
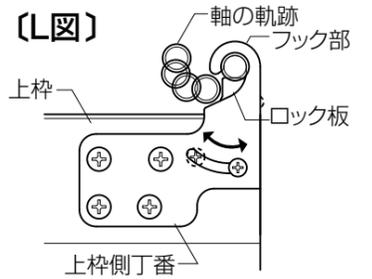
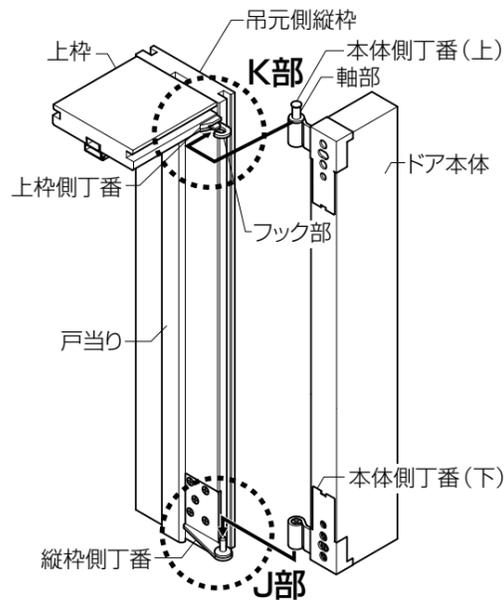


#### 4 ドア本体の取付け



#### 4 ドア本体の取付け

- ① 本体側丁番(下)を縦枠側丁番に差込みます。(J部)
  - ② 本体側丁番(上)の軸部を上枠側丁番のフック部にはめ込み、ドア本体を吊込みます。(K部、L図)
- ※ 本体側丁番(上)の軸部が、上枠側丁番に入ると自動でロック板が戻りロックされます。
- ③ ロック板が元の位置に戻っていることを確認してから、上枠側丁番のロックねじを締めてください。(M図)

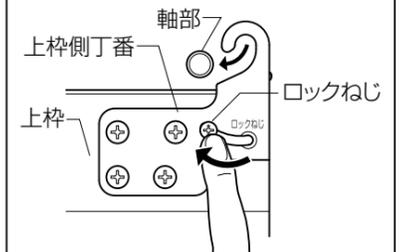


#### ▲ 注意

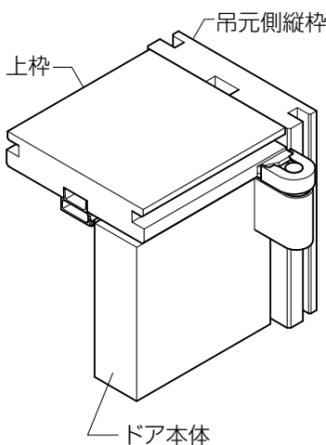
- 本体を吊込んだ後、上枠側丁番のロック板が元の場所に戻っていることを確認してください。ロック板が元に戻っていないと、本体脱落の原因になります。
- 本体を吊込んだ後、上枠側丁番のロックねじが締まっていることを確認してください。ロックねじが締っていないと、本体と干渉して部品が破損し、本体脱落の原因になります。
- 丁番固定ねじの締忘れ・緩みは、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじ及び丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。

#### ■ 本体の取外し方法

- ① プラスドライバーでロックねじを3回転緩めます。
- ② ロックねじ頭を下図のように手で動かし、ドア本体を取外します。

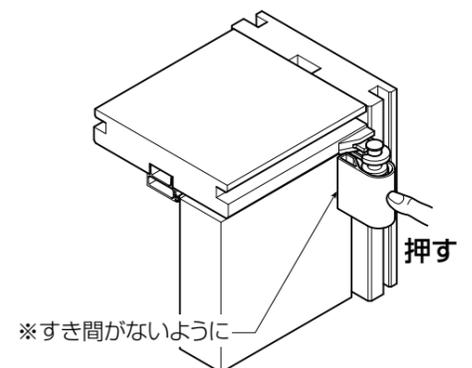
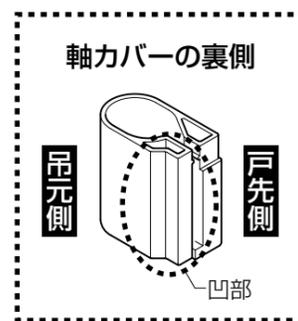
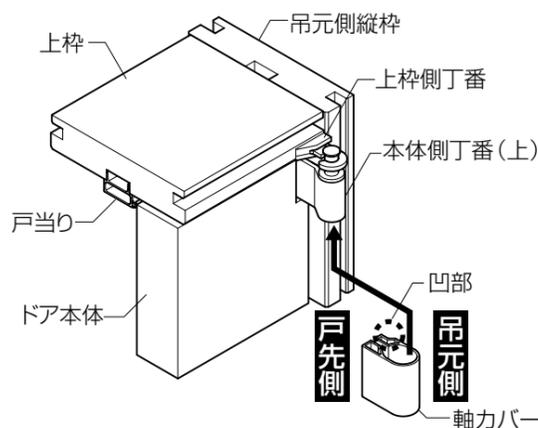


#### 5 カバーの取付け

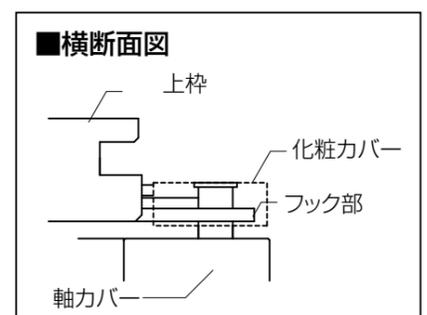
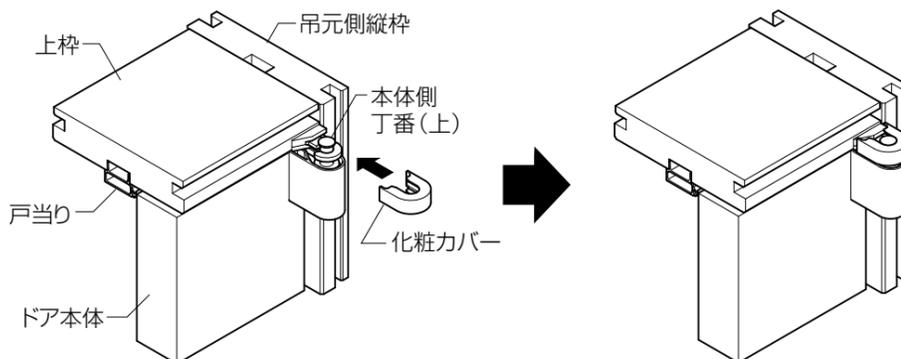


#### 5 カバーの取付け

- ① 軸カバーを本体側丁番に取付けます。  
※ 軸カバーの側面凹部を吊元側にしてください。
- ② 軸カバーを押してドア本体に突き当てます。



- ③ 化粧カバーを上枠側丁番のフック部に取付けてください。

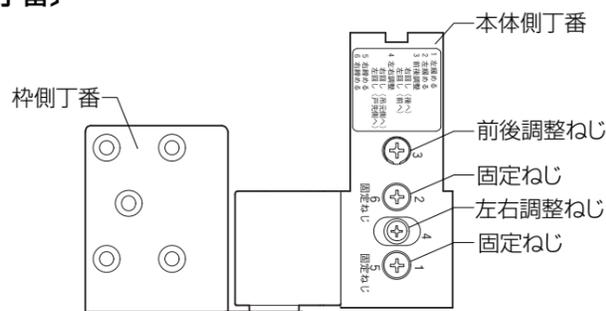


#### ■ 建付け調整

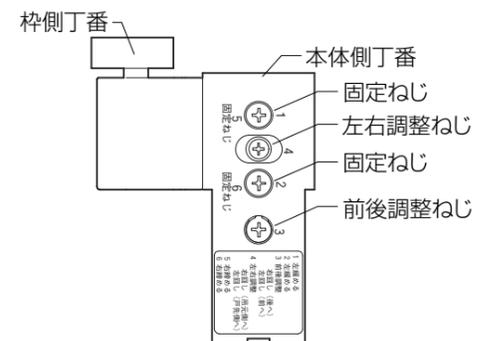
##### ■ 三次元丁番

(図は、右吊り用丁番を示す)

##### (下用丁番)



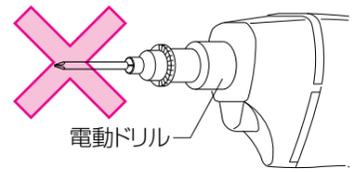
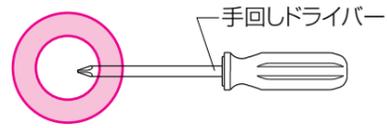
##### (上用丁番)



## ■建付け調整(丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。

※電動ドリルは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。

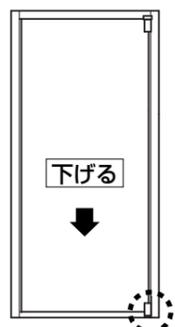


### 上下の調整

- 本体側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(2mm)、下(2mm)です。

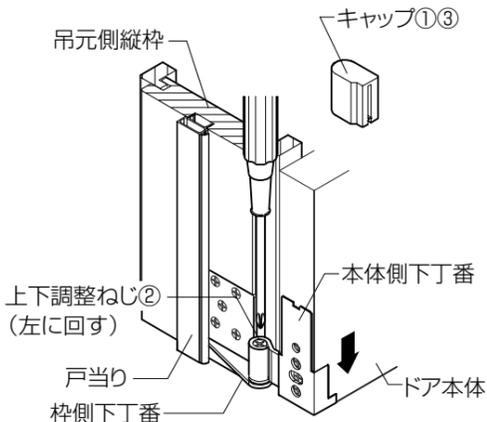
#### 不具合例

1. ドアの上部が枠に当たる。



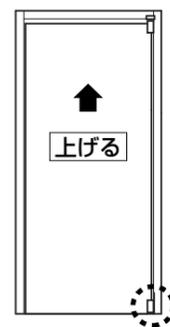
#### 調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。



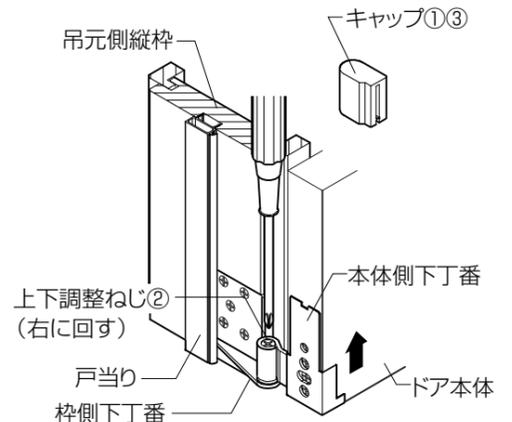
#### 不具合例

2. ドアの下部が枠に当たる。



#### 調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。



### 左右の調整

- 本体側上丁番及び本体側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に2.5mmです。

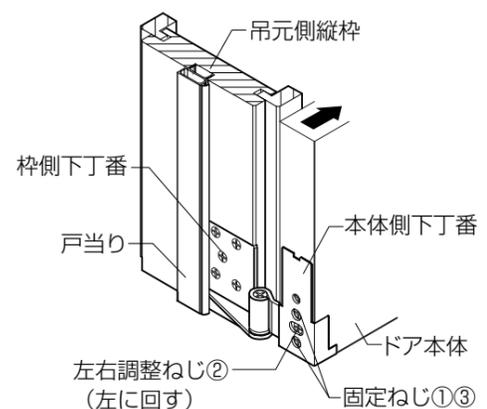
#### 不具合例

1. ドアの開き側が枠に当たる。



#### 調整方法

- ①固定ねじを緩める。
- ②左右調整ねじを左に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。



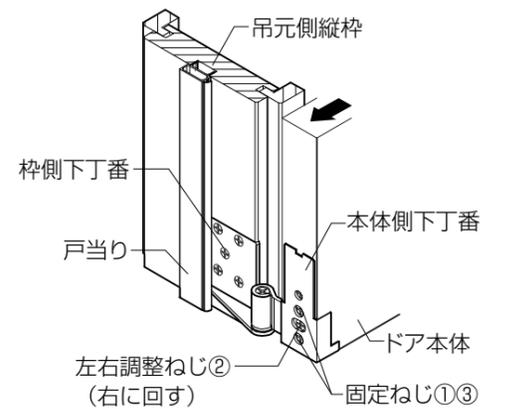
#### 不具合例

2. ドアの開き側のすき間が大きすぎる。



#### 調整方法

- ①固定ねじを緩める。
- ②左右調整ねじを右に回してドアを開き側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。

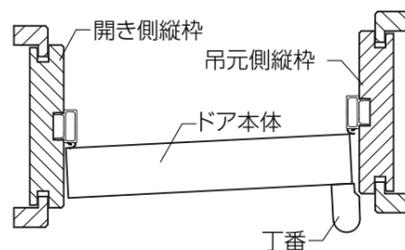


### 前後の調整

- 本体側上丁番及び本体側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。

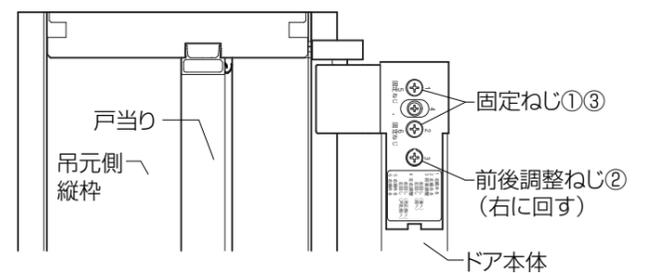
#### 不具合例

1. 開き側の枠が前に出ている。



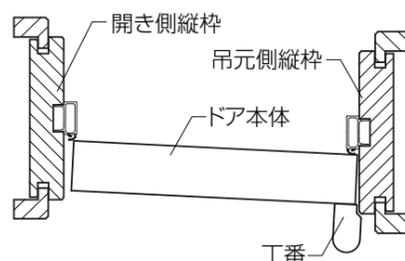
#### 調整方法

- ①固定ねじを緩める。
- ②前後調整ねじを右に回してドアを前に移動させる。
- ③固定ねじを締める。



#### 不具合例

2. 吊元側の枠が前に出ている。



#### 調整方法

- ①固定ねじを緩める。
- ②前後調整ねじを左に回してドアを後に移動させる。
- ③固定ねじを締める。

